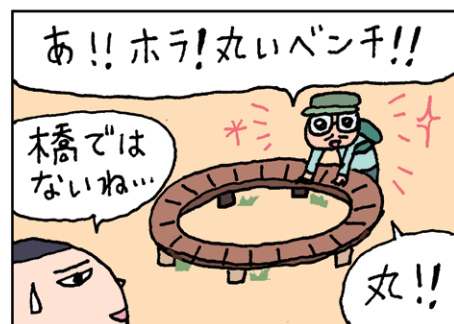


7んさんぽ

◎その69
てんてん
糸田川沿道々



阪急山本駅から、山本植木筋という道路を南に向かい、東公民館や長尾南小学校を越えて、長尾通りを過ぎると、そこが丸橋地区です。植木で有名だった山本村を構成する枝村として、古くから丸橋村という地名が記録されているそうですが、地名の由来は調べてみてもわかりませんでした。今でも園芸関係のお仕事をされている方が多いので、道路のそばに美しい植物がもりもりと茂っている場所もあるのですが、山本丸橋3丁目公園はよくある普通の公園でした。秋にはだんじり祭りもあるようです。丸橋を訪れたあと、長尾通りを西に歩くと伊丹市荒牧に入りました。西側が伊丹市になっているというのも、ちょっと不思議な感じです。

(てんてん 貂々)

宝塚市大使 やすみりえの「川柳日和り」

本誌9月号で「バランス」をお題に川柳を募集。応募総数83句の中から川柳作家のやすみりえ先生が選んだ秀作を紹介します。

天

絶妙に
保つ夫婦の
やじろべえ

古川裕美 様

講評

夫婦のバランスを、ゆらゆらと揺れるやじろべえに巧く例えました。十七音をリズム感よくまとめ上げていますね。

地

玉手箱
開けたらあった
孤独感

なぎさ 様

講評

昔話の一場面を彷彿とさせる句。「玉手箱」に「孤独感」を組み合わせたセンスの良さが光ります。

人

古稀むかえ
一日おきに
休肝日

つきお 様

講評

毎日ではなく「一日おきに」。そのあんばいを心地よく感じる一句。日々の健康管理のバランスを、飾らずに詠まれた印象です。

佳作

バランスを 悩んで探す 妥協点

杉浦健太郎 様

幸せを 分けて住みたい 人と熊

七夕ぜん哉 様

釣り合わぬ 歩いた分と 食べた量

福丸 様

子をつれて 実家に帰る スケジュール

両家平等 様

やすみ先生の一句

バランスの 悪いミックス ジュースだね

バナナやりんご、みかん…。材料の組み合わせや分量でその完成度もいろいろ。

ミックスジュースを人間関係と重ねて詠んでみましたよ。



総評

おかげさまで回を重ねております「川柳日和り」。皆さまから寄せていただく作品がバリエーション豊かになってきていて嬉しいです。これからも言葉選びを楽しみながら作句していきましょう!

お題 「進む」

対 市内在住・在勤・在学の人

申 1月15日(木)までに、

はがきに〒住所・名前・電話番号とお題をもとにした川柳(未発表作品のみ、3句まで)、作品について一言を書いて、〒665-8665(住所不要)市役所広報課「川柳」係へ。二次元コードから申し込み可。入選者にはプレゼントあり

問 広報課(☎77・2002 FAX74・6903)

